



平成30年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年7月31日

上場会社名 日本和装ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2499 URL <http://www.wasou.com/profile/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 吉田重久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 菅野泰弘 TEL 03-3216-0070
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月14日 配当支払開始予定日 平成30年9月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績（平成30年1月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	2,851	10.5	389	52.0	364	60.8	244	92.2
29年12月期第2四半期	2,580	14.1	256	600.7	226	8,849.0	127	—

(注) 包括利益 30年12月期第2四半期 244百万円 (70.3%) 29年12月期第2四半期 143百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第2四半期	26.88	—
29年12月期第2四半期	14.11	—

(注) 平成30年12月期第2四半期および平成29年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第2四半期	8,347	2,840	33.9
29年12月期	7,645	2,603	33.9

(参考) 自己資本 30年12月期第2四半期 2,829百万円 29年12月期 2,592百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	4.00	—	7.00	11.00
30年12月期	—	4.00	—	—	—
30年12月期(予想)	—	—	—	8.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,450	3.9	590	18.3	530	19.4	320	13.8	35.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

30年12月期2Q	9,134,000株	29年12月期	9,002,000株
30年12月期2Q	0株	29年12月期	0株
30年12月期2Q	9,083,143株	29年12月期2Q	9,002,000株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当社グループのビジネスモデル「教えて、伝えて、流通を促す」は、毎年春と秋の年2回、受講料無料のきもの着付け教室を運営し、受講されたお客様に着付けの技術や和装文化等の知識を伝え、そのうえで開催する販売会によって、収益が発生する仕組みです。

当第2四半期連結累計期間におきましては、引き続き、ビジネスモデルをブラッシュアップさせ、経営基盤をより強固なものにするための施策として、顧客満足度の向上や取引先との共存共栄を目指した取り組みを進めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、第1四半期に初めての四半期利益を計上できたことに加え、第2四半期(平成30年3月21日以降)は新規顧客向けの販売会が計画通りに推移したことや、既存顧客向け的大型販売イベントへの客足が伸び、売上も好調でした。これらの結果、売上高は2,851百万円(前年同四半期比10.5%)、営業利益389百万円(前年同四半期比52.0%)、経常利益364百万円(前年同四半期比60.8%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は244百万円(前年同四半期比92.2%)で増収増益となりました。グループ全体で利益を生み出す体制の好循環に加え、コスト管理を徹底した運営による経営体質の筋肉質化が図られてきているものと考えております。

受講料無料のきもの着付け教室につきましては、この春は「きものを着られる喜び」と「きものでもっと美しい自分を」をコンセプトに、女性がより美しく見える着付けにこだわり、同性からの好感度も高い女優の篠原涼子さんを起用した募集プロモーションを展開いたしました。応募人数は半年並みでしたが、教室の継続率が上がったため、取扱高については計画通りに推移いたしました。また、当期は卒業生(既存顧客)へのアプローチ強化に注力しておりますが、創業35周年記念を謳い6月に実施した販売イベント「遊々会」では、祝賀ムードの特別感を演出することで、多くのお客様にご参加いただき、付随する販売会も好調に推移しました。また、「インスタ映えする着姿を手軽に自分で」というコンセプトで、国内最大手の化粧品メーカーとコラボレーションし、メイクレッスンをカリキュラムに組み込んだ教室「キセキの一枚」はお客様に大変ご好評いただきました。

なお、当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心とした、きもの関連事業の単一セグメントのため、セグメント情報に関連付けた記載を省略しております。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して702百万円増加し、8,347百万円となりました。これは割賦売掛金が536百万円、現金及び預金が105百万円増加したこと等によるものです。また、負債につきましては、前連結会計年度末と比較して465百万円増加し、5,506百万円となりました。これは、グループ企業のニチクレ株式会社(当社顧客向けショッピングクレジット事業)の運転資金等に充当する長期借入金が増加したこと等によるものです。純資産につきましては、利益剰余金が増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して236百万円増加し、2,840百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する説明

平成29年6月25日に公表いたしました連結業績予想からの修正は行っておりません。

〈日本和装のいま・これから〉

当社グループでは、当連結会計年度より首都圏の営業組織細分化を実施いたしました。これによりお客様のニーズによりきめ細かな対応が可能となったこと等が功を奏し、当上半期におきましては、首都圏の取扱高が前年実績を大きく上回りました。

第3四半期連結会計期間は、卒業生向け企画教室「ラクラク帯結び5(ファイブ)」がご好評をいただいているほか、8月初旬には、出場カテゴリーを一新して内容を充実させたきもの着姿コンテスト「きものプリリアンツ全国大会」を開催いたします。いずれも販売仲介機会につながると見込んでおり、引き続き、お客様に喜んでいただけるサービスの提供等を通じ、売上拡大に向けた営業活動を展開してまいります。

秋の新規受講者募集プロモーションでは、着付けに対する「大変そう」というイメージを払拭するため、よりストレートな表現で着付けの手軽さをアピールする新しいテレビコマーシャルを制作いたしました。8月24日から放送開始予定で、CMイメージキャラクターは春に引き続き女優の篠原涼子さんです。親しみやすさを前面に出し、きものに対する敷居を下げ、きものは身近な存在であることを表現します。

連結子会社については、株式会社はかた匠工芸(博多織の製造販売業)で製作した袋帯「手織 弥三右衛門間道(やざえもんかんどう)」が内閣総理大臣賞を受賞いたしました。またニチクレ株式会社では、引き続き自社クレジット取扱強化の方針により取扱い件数が伸長しております。当期は、割賦事業での他社展開も実行しており、将来的にグループの収益増加に寄与できるよう、取り組みを進めております。4月に設立した日本和装沖縄株式会社につきましては、新業態である卸売事業の一環として、地元産地とのタイアップで、沖縄独特の染めの技術を生かしたオリジナル商品の開発に取り組んでおります。今後ともグループの力を結集させ、業績向上に注力してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,011,488	2,117,039
営業未収入金	167,404	209,524
割賦売掛金	4,122,518	4,659,036
たな卸資産	163,839	152,260
その他	534,223	590,277
貸倒引当金	△49,686	△57,588
流動資産合計	6,949,788	7,670,549
固定資産		
有形固定資産	294,297	276,917
無形固定資産	80,341	70,501
投資その他の資産	320,653	329,570
固定資産合計	695,292	676,989
資産合計	7,645,081	8,347,539
負債の部		
流動負債		
営業未払金	31,676	26,288
短期借入金	2,259,380	2,115,133
未払法人税等	92,936	142,281
前受金	358,622	374,649
営業預り金	42,657	39,512
その他	399,162	418,022
流動負債合計	3,184,437	3,115,887
固定負債		
長期借入金	1,820,886	2,365,136
その他	36,033	25,829
固定負債合計	1,856,919	2,390,965
負債合計	5,041,356	5,506,853
純資産の部		
株主資本		
資本金	459,634	478,198
資本剰余金	336,487	373,772
利益剰余金	1,805,787	1,988,107
株主資本合計	2,601,909	2,840,078
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△9,660	△10,719
その他の包括利益累計額合計	△9,660	△10,719
新株予約権	9,361	6,237
非支配株主持分	2,113	5,089
純資産合計	2,603,724	2,840,686
負債純資産合計	7,645,081	8,347,539

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
売上高	2,580,316	2,851,850
売上原価	277,675	333,875
売上総利益	2,302,641	2,517,974
販売費及び一般管理費	2,046,039	2,127,988
営業利益	256,601	389,986
営業外収益		
受取利息	12	13
その他	5,879	2,827
営業外収益合計	5,891	2,840
営業外費用		
支払利息	14,087	15,424
支払手数料	16,352	9,345
その他	5,218	3,237
営業外費用合計	35,658	28,006
経常利益	226,835	364,820
特別利益		
固定資産売却益	—	925
新株予約権戻入益	—	1,447
特別利益合計	—	2,373
税金等調整前四半期純利益	226,835	367,193
法人税、住民税及び事業税	64,025	128,819
法人税等調整額	19,575	△3,979
法人税等合計	83,601	124,840
四半期純利益	143,233	242,353
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	16,202	△1,822
親会社株主に帰属する四半期純利益	127,030	244,176

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	143,233	242,353
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	407	2,239
その他の包括利益合計	407	2,239
四半期包括利益	143,641	244,593
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	130,445	243,116
非支配株主に係る四半期包括利益	13,195	1,476

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	226,835	367,193
減価償却費	41,365	40,501
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,921	7,902
固定資産売却損益(△は益)	—	△925
新株予約権戻入益	—	△1,447
受取利息	△12	△13
支払利息	14,087	15,424
為替差損益(△は益)	4,874	1,848
営業未収入金の増減額(△は増加)	3,491	△42,119
割賦売掛金の増減額(△は増加)	△530,484	△536,517
たな卸資産の増減額(△は増加)	△12,610	11,578
営業未払金の増減額(△は減少)	160	△5,387
前受金の増減額(△は減少)	173,620	16,026
営業預り金の増減額(△は減少)	9,437	△3,145
割賦利益繰延の増減額(△は減少)	△264	4,096
その他	57,570	△29,520
小計	△9,007	△154,505
利息の受取額	12	13
利息の支払額	△14,087	△15,424
法人税等の支払額	△91,094	△83,007
営業活動によるキャッシュ・フロー	△114,175	△252,923
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△16,184	△10,788
無形固定資産の取得による支出	—	△2,625
有形固定資産の売却による収入	—	925
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	1,500
敷金保証金の増加額	△31,551	△9,071
敷金保証金の減少額	3,289	357
その他	△20	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,467	△19,703
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	169,182	△604,243
長期借入れによる収入	1,450,000	1,800,000
長期借入金の返済による支出	△1,171,165	△795,754
社債の償還による支出	△50,000	—
株式の発行による収入	—	35,452
配当金の支払額	△28,072	△63,014
非支配株主からの払込みによる収入	—	18,720
リース債務の返済による支出	△8,346	△10,203
財務活動によるキャッシュ・フロー	361,597	380,956
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,112	△2,778
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	201,841	105,551
現金及び現金同等物の期首残高	1,138,223	1,511,445
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	661	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,340,726	1,616,997

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、和服及び和装品の販売仲介を中心としたきもの関連事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。